

平成28年度新越谷駅・南越谷駅・越谷レイクタウン駅周辺
帰宅困難者対策訓練を実施します

市、県、鉄道事業者、駅周辺事業者及び警察等で構成する新越谷駅・南越谷駅周辺帰宅困難者対策協議会は、東日本大震災を教訓に、駅周辺に多数の帰宅困難者が発生した場合に備え、協議会各構成員が連携した帰宅困難者対策訓練を新越谷駅・南越谷駅周辺で実施してきました。今年度は、新たに越谷レイクタウン駅を加え、より実践的な帰宅困難者対策訓練を実施します。

記

1. 目的

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、駅周辺に多数の帰宅困難者が発生した場合に備え、市、県、鉄道事業者、駅周辺事業者及び警察が連携した帰宅困難者対策訓練を実施することで、現状の体制における課題を抽出し、今後の活動の改善に反映させ、駅周辺における災害対応能力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2. 実施主体

新越谷駅・南越谷駅周辺帰宅困難者対策協議会

3. 実施日時

平成29年2月25日（土）

※小雨決行（荒天時または鉄道事故等が発生した場合は中止）

【新越谷駅・南越谷駅会場】 午前8時から午前9時まで

※受付は、午前7時30分から午前8時まで南越谷駅前広場にて

【越谷レイクタウン駅会場】 午前9時から午前10時まで

※受付は、午前8時30分から午前9時まで越谷レイクタウン駅北口広場にて

4. 会場

【新越谷駅・南越谷駅会場】

東武伊勢崎線新越谷駅、JR武蔵野線南越谷駅、越谷コミュニティセンター、
南越谷地区センター

【越谷レイクタウン駅会場】

JR武蔵野線越谷レイクタウン駅、水辺のまちづくり館

越谷市

5. 参加者

協議会関係者及び一般参加者 約250名

- ・避難誘導、一時滞在施設の開設等 約50名（協議会関係者）
- ・帰宅困難者役 約200名（協議会関係者及び一般参加者）

6. 訓練想定

東京湾北部地震 マグニチュード7.3（越谷市内では震度6強）

7. 訓練概要

(1) 駅利用者保護訓練

安全スペースへの誘導等を通じ、駅利用者の安全確保や駅周辺施設内への保護の方法等を検証する。

(2) 避難誘導訓練

帰宅困難者の一時滞在施設への避難誘導方法や避難経路等を検証する。

(3) 一時滞在施設の開設・帰宅困難者の受入・物資支給訓練

一時滞在施設における帰宅困難者の受入方法、受入後の物資の支給などの対応方法等を検証する。

(4) 情報収集・伝達訓練

鉄道事業者と行政機関の連絡体制及び協議会構成員間の情報共有手段を検証する。

8. 参考

新越谷駅・南越谷駅周辺帰宅困難者対策協議会

- ・設立日 平成25年2月14日
- ・会長 東日本旅客鉄道株式会社 南越谷駅長 原 憲義
- ・構成機関 東武鉄道株式会社新越谷駅、東日本旅客鉄道株式会社南越谷駅、越谷コミュニティプラザ株式会社、公益財団法人越谷市施設管理公社（越谷コミュニティセンター）、株式会社埼玉りそな銀行南越谷支店、東武ビルマネジメント株式会社（新越谷ヴァリエ）、イオンリテールストア株式会社イオン南越谷店、ポラス株式会社、南越谷商店会、イオンモール株式会社イオンレイクタウン kaze、イオンモール株式会社イオンレイクタウン mori、イオンリテール株式会社北関東・新潟カンパニー 埼玉県事業部イオンスタイルレイクタウン、越谷警察署、埼玉県、越谷市

問合せ先：市民協働部 危機管理課 963-9285（直通）
内線 2155、2158